

# お茶に関する歴史的な史跡

## 宇治市 UJI-SHI

### 黄檗山萬福寺と駒蹄影園碑

黄檗山萬福寺の境内には、煎茶の祖・高遊外売茶翁を祀る売茶堂があります。毎年、煎茶道大会が催され、煎茶道家元の献茶の儀が行われています。



また、萬福寺の門前には、明恵上人が宇治に茶栽培を伝えたエピソードをものがたる歌碑があり、宇治茶の発祥を伝えています。「とが山の尾上の茶の木分植て あとそ生べし駒の蹄影」(要拝観料)



### 平等院表参道 (かおり風景百選の道)

平等院の表門に続く約160mの商店街には多くの茶店が軒を連ね、茶を焙じる香ばしい香りが街角に漂っています。



### 玉露製茶発祥之碑

宇治小倉の木下吉左衛門の製茶場において碾茶製造の様子を見ていた山本嘉兵衛が蒸された葉をかき回したところ、飴のような粘液がでて丸く団子になったところから『新製玉の露』と名付けられました。その後、小倉の江口茂十郎により「玉露」が完成しました。この逸話を記念して、建立されました。

(小倉公民館(巨椋神社隣)入口前)



さらに詳しい情報は  
こちらへアクセス

